

毎週火曜掲載

公開
私の実践ノート

⑩

選んだ記事自分を投影

仙台市高森中教諭 木下 晴子

がはつきりしなかったり、who(誰が)が特定できなかつたりするものもある。そういうときの個々への助言が必要となる。

また、発表の際にはプロジェクターなどを使い、記事をクラス全体に見せるとより効果的である。発表者もスピーチしやすくなる。私は記事写真に撮り、モニターに映し出した。文字までは読めなかつたが、見出しを見ることが

きのした、はるきさん 仙台市高森中教諭。宮城県NIE推進委員会中学校部会運営委員。日本新聞協会NIEアドバイザー。山形市出身、仙台市在住。

記事の内容と発表者の意図が分かりやすくなった。この後の展開としては、発表された

選んだ記事には自分の一部が投影される。だから、どの記事を選び何を伝えるかは生徒にとって一大事だ。でもクラスの仲間に自分を知ってもらうのは、ちょっとうれしい。

新聞を使う授業で生徒が一番楽しく感じるのは、なんといってもスクラップ活動のようである。夢中になって記事を読みながら切り抜いて紙面に貼り、感想を書き、ペアやグループなどでそれを伝え合う様子を見てみると、新聞は基本的な力を育てる秘密兵器なのではないかと思ってしまう。

注意点が。概要をまとめる際には5W1Hを意識させるが、新聞記事といっても文中に必ず5W1Hが入っているわけではない、ということである。特にwhy(なぜ)が書かれている記事は少ないし、時にはwhen(いつ)

1年生の国語の授業で、新聞記事を使ってスピーチを行う



記事を読んだ感想を発表する生徒と木下さん(右)

中から問題提起ができそうな記事を選び、クラスでディスカッションをさせたり、グループ内で発表させ、ポイントを聞き取らせたりすること

以前、新聞から写真だけを切り抜き、その写真について説明をする、という授業を行った。その他にも見出しだけ、グラフだけ、などの方法が考えられる。新聞は工夫次第でいろいろな使い方ができる。それが新聞の魅力の一つだと感じている。

◆ NIEを実践している教員やNIEアドバイザーらに、自分だけの方法を公開してもらいます。NIEがぐっと身近になります。各月第1週に掲載します。

生徒が記事を読んで書いた発表用の原稿

